

## 平成 31 年度「特色ある区づくり事業」委員提案事業調整経過（一覧）

	提案事業名	概要	担当部会	部会の主な意見	担当課	区の方針	予算区分 (案)
1	区バッジ・ペンダントの作成	北区民としての誇りやアイデンティティを表現するバッジやアクセサリを作成する。作成のため実行委員会を立ち上げ、デザインを公募、希望者に実費販売を行う。	地域づくり	何種類か作成し、デザインを選べるようにしてはどうか。反射する素材を利用し、高齢者等の交通安全に役立ててはどうか。13 番の提案事業と一緒に検討していくこととしてはどうか。	地域総務課	北区のアイデンティティや意識が育まれるよう、13 番の提案と併せて取り組みます。	自治協提案
2	学びあい、健康で人にやさしいまちづくり～高齢者に少しでも利便さ、喜びを～	高齢者が外出しやすくなるよう、バス停を増やす等、交通網を整備する。	地域づくり	住民運営のバスは、収支率向上のために苦慮している。経費を増やすことは難しいだろう。バス停を決めず、ある一定の区間は自由に乗降できるバスはどうか。便数増より乗車人数を増やすための工夫や PR が必要。	地域総務課	収支率向上に苦慮しているバスの経費を増やすことは難しいため、乗車人数を増やす工夫や PR に励み、新たな予算化はしないこととします。	—
		空き地をグラウンドゴルフの広場とする等、健康増進と外出の楽しみを増やすため、高齢者が活動しやすい環境を整える。	自然文化	広場整備は難しい。競技人口など他の競技とのバランスも確認する必要がある。利用可能な施設の提供などをしてはどうか。	産業振興課	専用広場の整備は難しいため、利用可能施設の提供に努め、新たな予算化はしないこととします。	—
3	ノーザン ミュージック フェスティバル 2019	ノーザン ミュージック フェスティバル 2018 の開催結果を踏まえ、より地域ニーズに合わせた音楽イベントを、行政と民間の協働で継続的に実施することで地域の活性化とさらなる魅力の創出を図る。	地域づくり	来年度は新庁舎整備のために、北区文化会館の屋外会場が利用できない。豊栄総合体育館はどうか。2018 の開催状況を十分に検証し、次の開催に向けての方向性を探っていくのはどうか。	産業振興課	今年度の実施状況の成果や課題を検証する必要があることから、予算化は見送ることとします。	—
4	リノベーションまちづくり@ニイガタキタ!	「遊休不動産」を活用するリノベーションによるまちづくりの取り組みを学び、まちづくりの担い手を育てるセミナーや、リノベーションスクールを開催する。	地域づくり	どのエリアをどうしたいなど具体性があった方がよいのではないかと。現行の市の制度で補助できる事業の可能性はある。補助制度の利用も検討してみてはどうか。	産業振興課 建設課	現行の補助制度の利用を検討していただくこととし、新たな予算化は見送ります。	—
5	定期的な音楽教室の開催	区内の小学生を対象として、市内外の音楽家や交響楽団によるコンサートや音楽教室（体験会）を定期的で開催することで、子どもたちの感性を育む機会を設ける。	自然文化	趣旨は意義深い。北区文化会館の事業と連携して、学校のニーズを確認した上で、子どもたちの感性を育む音楽鑑賞事業として実施できると良い。	産業振興課	将来を担う子どもたちの感性を育むため、学校と相談した上で、北区文化会館と連携して取り組むこととします。	自治協提案
6	潤いの福島潟創出事業	福島潟や周辺環境への理解を深め、自然環境を生かした活用法や施設の整備法を話し合うワークショップ等を開催する。	自然文化	6・7 番の提案は重なる面が多い。施設整備や福島潟散策コースを含めて、福島潟のワイズユースをワークショップ等で検討する事業として実施できると良い。	産業振興課	区の大きな魅力である福島潟の環境保全とワイズユース（賢い利用）を進める必要があることから、予算化します。	自治協提案
7	福島潟周遊散策コース検討	福島潟周辺の堤防上を散策・ジョギングするコースを考案し、区民等に広く周知することで、自然への関心を高め、健康増進を図る。	自然文化		産業振興課 建設課		

平成 31 年度「特色ある区づくり事業」委員提案事業調整経過（一覧）

8	つながりサロンの設置	公共施設や空き店舗などを活用し、悩み相談や茶飲み話、遊びができるサロンをつくる。多世代交流を通じて、高齢者の生きがいつくりと健康増進につなげる。	福祉教育		健康福祉課		
9	高齢者等の健康診断時における健康指導の実施	定期健康診断の際に、簡単な運動指導や栄養指導を行うことで、受診率の向上と区民の健康増進をはかる。実施においては、新潟医療福祉大学と協力して行う。	福祉教育	秋葉区では新潟薬科大学と地域が積極的に連携している。秋葉区の事例を踏まえて、北区でも新潟医療福祉大学と情報交換を行いながら、連携を検討してみたい。	健康福祉課	既存事業の取り組みを継続するとともに、新潟医療福祉大学との連携を深める部分については予算化し、学生と地域のつながりを深め、健康寿命の延伸を図ります。	自治協提案
10	健康づくりリーダーの育成	介護や健康増進のための運動指導等を地域で行う「健康づくりリーダー」を育成し、区民の健康増進につなげる。リーダーの育成は、新潟医療福祉大学が担当し、協働で行う。	福祉教育		健康福祉課		
11	元気な高齢者の生きがい事業	高齢者が集まり、活動しやすい場所と機会を地域コミュニティの中につくり、常駐スタッフを配置する。	福祉教育		健康福祉課		
12	定期健診時のママ・パパ応援講座	子育てに大事なことをまとめたテキストを作成し、乳幼児の定期健診時に保護者を対象とする講座を実施する。すべての親が学ぶ機会を設け、乳幼児の育成環境を改善する。	福祉教育	概ね賛成だが、乳児健診では母子ともに講座を受講する余裕がないように見えた。テキストづくりを優先して実施を検討し、その手段は改めて検討する余地がある。	健康福祉課	乳幼児の育成環境を改善する必要があることから予算化し、テキストの作成や配布方法等を検討します。	自治協提案
13	北区みんなで見守り隊	普段の暮らしの中で互いに見守り支え合う「北区みんなで見守り隊」の登録を募り、ステッカーや腕章を配布。年一回報告会を開催し、情報交換やネットワークづくりを行うことで、互いに助け合う意識の醸成をはかる。	地域づくり	新しく団体を立ち上げ、その団体に登録する人を、地域で人選するのは難しい。 見守り活動を行っている多数の団体を繋げ、情報交換をすることで、他の団体のことを知り、学び、北区の安心安全が築かれるだけでなく、支え合いの意識の醸成や地域の活性化にも結びついていく事業として非常に有意義と思われる。	区民生活課	見守り活動を行う各種の団体が連携し、情報交換する機会をつくることで、支え合いの意識が醸成されることが期待されることから、予算化します。	自治協提案